

“今週の国際宇宙ステーション(ISS)”

※特に断りの無い限り日付は日本時間です。

☆最初のISS構成要素打上げから3259日経過しました

☆第16次長期滞在クルーのISS滞在は11日

(クレイトン・アンダーソン宇宙飛行士は134日)経過しました

☆ISS動向

第15次長期滞在クルー(フォードル・ユールチキン、オレグ・コトフ両宇宙飛行士)と、初のマレーシア人宇宙飛行士であるシェイク・ムザファ・シュコア氏を乗せたソユーズ宇宙船(14S)は、10月21日午後4時14分にISSから分離し、同日午後7時36分にカザフスタン共和国の予定よりも約340km西側に無事着陸しました。第15次長期滞在クルーのISS滞在期間は約194日でした。

第15次長期滞在クルーが帰還した国際宇宙ステーション(ISS)では、10月12日にISSに到着したペギー・ウィットソン、ユーリ・マレンチェンコ両宇宙飛行士、および引き続き滞在するクレイトン・アンダーソン宇宙飛行士の3名が、第16次長期滞在クルーとしての活動を開始しました。

●国際宇宙ステーションのクルー交代/ソユーズ宇宙船交換ミッション(15S)

<http://iss.jaxa.jp/iss/15s/index.html>

☆初のマレーシア人宇宙飛行士 シュコア氏の9日間のISS滞在

シュコア宇宙飛行士は9日間のISS滞在期間中、ガンなど4種類の細胞が宇宙でどのように活動するかを調査するマレーシアの実験や、JAXAが開発した個人被ばく線量計Crew PADLES(クルーパドレス)の携帯による飛行中の被ばく線量計測のほか、宇宙酔いの調査や無重量環境下での腰痛、骨量低下を検知する新しい技術の試験などを含む欧州宇宙機関(ESA)の宇宙医学分野の4つの実験に参加しました。ESAの実験の成果は、地球上における骨粗しょう症の早期発見にも応用が期待されます。

イスラム教徒として世界で初めて宇宙でラマダン(断食月)を過ごしたシュコア宇宙飛行士は、ISS上で行った記者会見で、ハリラヤ(断食明け大祭)にはマレーシア料理の宇宙食を食べたと語りました。



第15、16次長期滞在クルーおよびシュコア宇宙飛行士(提供: NASA)

“スペースシャトル・ディスカバリー号(STS-120)の準備状況”

NASAは、STS-120ミッションの最終準備状況を確認し、正式な打上げ日を決める飛行準備審査会(Flight Readiness Review: FRR)を、米国時間10月16日にNASAケネディ宇宙センター(KSC)にて開催しました。審査会の結果、STS-120ミッションの準備状況は整っていると判断され、打上げ日時を10月24日午前0時38分とすることを発表しました。

STS-120クルーは、米国時間10月19日にKSCへ到着しました。10月21日午前3時から、打上げに向けたカウントダウンが開始されました。STS-120ミッションの最新情報や詳細は以下のホームページをご覧ください。

●STS-120ミッション

<http://iss.jaxa.jp/iss/10a/> (JAXA: 日本語)

http://www.nasa.gov/mission_pages/shuttle/shuttlemissions/sts120/ (NASA: 英語)



打上げのためKSCに到着したSTS-120クルー(提供: NASA)

“インフォメーション”

☆筑波宇宙センター特別公開開催

10月20日(土)、筑波宇宙センター(TKSC)特別公開が行われ、約8,400名の皆様にご来場いただきました。山崎宇宙飛行士による講演や、「きぼう」日本実験棟を含むISSに関する講演、宇宙日本食の紹介などが行われ、宇宙開発の最前線を感じていただいた1日となりました。次回の特別公開は、2008年4月の開催を予定していますが、開催日など詳細は調整中です。



特別公開の様子

問い合わせ先: 宇宙航空研究開発機構 宇宙ステーション・きぼう広報・情報センター

ホームページ <http://iss.jaxa.jp/> Eメール kibo-pao@jaxa.jp

ウィークリーニュースメーリングサービス登録 <http://iss.jaxa.jp/weekly/index.html>

※「ISS・きぼうウィークリーニュース」に掲載された記事を転載する場合、本ウィークリーニュースから転載した旨を記述ください。